

2023 年 4 月における評価方法の変更概要

評価方法を次の通り変更しました。

< 外皮 >

1. 塗膜の日射吸収率を考慮した日射熱取得の計算方法が新たに追加されました。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第四節「日射熱取得率」
2. 土間床等の外周部の線熱貫流率を求める際の、地盤面の定義を再整理しました。これに伴い、次の技術資料等を変更しました。なお、当該再整理の前後で評価結果が変わる場合があります。
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第三節「熱貫流率及び線熱貫流率」
 - 任意評定に係る算定方法等「定常二次元計算による土間床等の外周部の基礎の線熱貫流率の算定方法」

< 給湯設備 >

3. 冷媒に R32 を採用する電気ヒートポンプ給湯機が評価対象として新たに追加されました。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第七章「給湯設備」

< 自然エネルギー利用設備 >

4. 液体集熱式太陽熱利用設備の算定方法を、集熱面積や貯湯タンク容量に基づく方法から、コンポーネント(集熱部、貯湯部、給湯接続部)の特性を考慮した方法に変更しました。これに伴い、評価に用いる当該機器の仕様を表すパラメータを下表のように変更しました。なお、当該変更の前後で評価結果が変わる場合があります。

表 液体集熱式太陽熱利用設備の仕様を表すパラメータの変更

変更前(2023年3月以前)		変更後(2023年4月以降)	
液体集熱式太陽熱利用設備の種類	仕様を表すパラメータ	液体集熱式太陽熱利用設備の種類	仕様を表すパラメータ
● 太陽熱温水器	<ul style="list-style-type: none"> ● 集熱部総面積または集熱貯湯部面積／有効集熱面積 ● 集熱部の設置方位角 ● 集熱部の設置傾斜角 	● 密閉形太陽熱温水器	<ul style="list-style-type: none"> ● 給湯接続方式 ● 集熱部総面積 ● 集熱部効率係数 ● 集熱部熱損失係数 ● 循環流量係数 ● 熱交換器伝熱係数 ● 貯湯タンク容量 ● 有効出湯効率 ● タンク放熱係数 ● 集熱器の設置方位角 ● 集熱器の設置傾斜角
● ソーラーシステム	<ul style="list-style-type: none"> ● 集熱部総面積集熱貯湯部面積／有効集熱面積 ● 貯湯タンクの容量 ● 集熱部の設置方位角 ● 集熱部の設置傾斜角 	● ソーラーシステム	<ul style="list-style-type: none"> ● 給湯接続方式 ● 集熱部総面積 ● 集熱部効率係数 ● 集熱部熱損失係数 ● 基準循環流量 ● 熱媒比熱 ● 集熱配管放熱係数 ● 熱交換器伝熱係数 ● 連続運転時消費電力 ● 集熱判定消費電力 ● 蓄熱タンク容量 ● 有効出湯効率 ● タンク放熱係数 ● 集熱器の設置方位角 ● 集熱器の設置傾斜角

当該変更に伴い、次の技術資料等を公開しました。

- 技術情報の第七章「給湯設備」
- 技術情報の第九章「自然エネルギー利用設備」第二節「液体集熱式太陽熱利用設備」

5. 太陽光発電設備に関して、引用規格に JIS C 61215-2:2020「地上設置の太陽電池(PV)モジュールー設計適格性確認及び型式認証ー第2部:試験方法」を追加しました。当該変更に伴い、次の技術資料等を公開しました。

- 技術情報の第九章「自然エネルギー利用設備」第一節「太陽光発電設備」

以 上

※「技術情報」とは、国立研究開発法人 建築研究所が公開する「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)現行版」です。
「資料」、「Excel ツール」および「WEB アプリ」とは、WEB サイト「住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」において公開する入力補助ツール・補足資料です。